

★マルチング材特集★

マルチングとは？

マルチングとは植物を植えた地表面をウッドチップやバーク(樹皮)で覆うことで様々な効果を得られます。

○マルチングの効果○

雨や水やりの時の土の跳ね返りを抑え、雑草の発芽や繁殖も防ぐ効果があり

ウッドチップやバークなどによって雑草の種が発芽しにくくなります。

また、土を見えにくくする事により外観的効果も良くなります。

マルチング材はガーデニングにも使用されています。例えば・・・庭、樹木周り、プランター、など

今後ガーデニングされる方、またガーデニングにご興味がある方は是非お問い合わせください！！

○マルチング材の種類○

ウッドチップ、バーク(樹皮)、腐葉土、ピートモス、水ゴケ、枯葉、石等があります。

マルチゴールドB(ウッドチップ)

松の木の樹皮を選別し粒状にしたタイプのマルチング材で

断熱効果にも優れ、雨等に当たっても腐りにくいです。

公共施設、道路(側道の街路樹)のなどでも使用されています。

マルチゴールドN

マルチゴールドBに難燃処理を施したマルチング材で

難燃処理をしているため燃えにくく火事などのリスクが減ります。

粒形はマルチゴールドBと一緒にです。

マルチバーク

樹皮を粉碎製造したマルチング材で

暖期の乾燥の防止力が強く、雨水の浸透が良いです。

地表面に直射日光があたらないので、雑草を抑えられます。

マルチバーク糊入り

強風や降雨による飛散を防ぐため粘結剤を混合しています。

そのため飛散にしにくくなっております。(強風等の対策)



50L入り



粒形3~5cm



50L入り



粉碎状

今後2~3カ月の気象

今年は梅雨の時期が遅れ、6月は雨が少なく7月に多く、夏がずれ込むという予想です。

芝生・・・例年芝生肥料の撒布は活性が上がってくる4~5月辺りですが、今年は春先気温が低かったためずれ込んでいる分5月末から6月にかけて肥料のタイミングを遅らせてみるのが良いと思われます。

また、夏は特に気温が高くなりますので夏の水管理は他時期と比べしっかりやりましょう。

水稲・・・例年に比べ今年は台風も多いとの予報です。ケイ酸をしっかり補給して台風の際に倒れにくい丈夫な稲を育てましょう。(ケイ酸には葉っぱ、茎を丈夫にする効果があります)

今年も暑い夏になりそうですのでしっかり対策を立てて乗り切りましょう。

質問、問い合わせは(株)シマヤ 森下TEL:090-6200-7173